

「臼と杵」を使った「もちつき」を実施しました。

12月21日(火)に、園庭でおもちつきを実施しました。

園庭には臼が準備されていて、登園した子どもたちは臼を見つけると「もちつきだ!」「楽しみだね!」とテンションが上がっている声が聞こえてきました。

園長よりおもちつきについてのお話でおもちつきが始まりました。子どもたち用にある程度ついたおもちが登場すると、子どもたちのテンションは一気にMAXに。おもちが臼に投入されてもちつきの準備ができました。

今回は幼稚園を代表して年長組さんがお供え用のおもちをつきます。臼のまわりで年中、年少組さんが見守っています。まずはらいおん組さんからです。2人ずつ杵でおもちをついていきます。「よいしょ!よいしょ!」のかけ声で杵を振り下ろします。まわりの年中、年少組さんたちも一緒に「よいしょ!」と応援してくれました。



続いてきりん組さんです。こちらもらいおん組さんに負けなくらい力強く杵を振りおもちをついてくれました。1組力一杯ついて立派なおもちができました!



いつもはこのついたおもちを子どもたちでいただくのですが、新型コロナウイルス感染予防のため年長組さんたちが心をこめてついてくれたおちは鏡もちとしてお供えすることになりました。

子どもたちには別に衛生面に配慮し、もちつき機でついたおもちを丸餅としてお土産にして持たせました。

